

さくらさくら

平成21年12月1日発行

第4号

社会福祉法人 桜友会

児童心理療育施設 桜学館

〒501-3932 岐阜県関市稲口 777 番地 1

Tel 0575-24-0050 Fax 0575-24-0051



施設長より



音も立てずに、ひそやかに、でも、確かに、近づいてくる。ひたひたと寄って迫りくる空気を感じつつ、息を潜めて、小さくなって、待つしかない……。ドキドキしながらも、なるようになって居直るような、あきらめるような、ままならない気持ち。そうです、目には見えない『新型インフルエンザ』。

手洗い・うがいで何とか凌いできた。毎日、毎日、忘れないで、休むことなく、これで病気は体に入らないはずだと、信じて繰り返す。これしかない信じて……。

意味があるのか、ないのか、分からないままに施設に入所してきた子どもたちや、入所してからその意味が分からなくなってしまった子どもたち。それでも、信じて居続けるには、何が必要なのだろうか？

目に見えないものやことを信じるって、時には疑惑や疑念に襲われ、それを拭い去れなくなってしまったりもする。それらを打ち消し、安心感や安全感、信頼して待ち、前に進むために、気持ちや心を支えるものってなんだろう。

子どもたちの心が施設で生活する現実から離れて、共同生活上最低限必要なルールが守れなくなるときがある。距離を縮めれば逃げてゆき、距離をおけば挑発してくる。私たちはどうしてよいか分からなくなる。子どもたちと上手く結びつかない自分の行動に臍をかむ。力の無さに、落胆する。真っ暗闇の中で見えない出口を探している気分になる。この気分が、子どもたちの今の気持ちなのだろうかと考えてみたりする。こんな状態のとき自分はどうするのだろうか。どうしたらよいのだろうか。

今の状況を変えるために、何かをしてみようか？

発想を変えて、目標を変えて、今、自分たちにできることをやってみるとすると……。

出口が分からなければ、入り口の方に戻ってみるのもいいかな？『初心にかえる』って事も必要かな……。

まもなく、桜学館が始まってから5年が過ぎようとしている。決して戻ることはできない、今来た道を振り返り、5年間の混沌から抜け出し、これから先に進む道を見出してゆきたいと思いつつひとり岩盤浴に填っている今日この頃です。

長瀬 志津子



風ユニット

夏休みの午前中を有意義に過ごすために、風ユニットでは「わくわくタイム」を計画しました。みんなのリクエストを取り入れ、フルーツポンチ・ピザ・タルトなどのおやつ作り、プラ版・ぬり絵・ランチョンマットや雑巾作りなどの作品作り、そしてDVD鑑賞など色々なことにチャレンジしました。

希望者のみで呼びかけた活動でしたが、ほとんどの子ども達が誘い合って毎日参加してくれました。(実は私たち職員は毎日準備に悲鳴をあげていたのですが!?) 長〜い、長〜い夏休みを朝の楽しい活動でスタートさせ、みんなで仲良く過ごすことが出来ました。

そして秋。休日にはみんなで地元の公園のフェスティバルへ行ったり、買い物やプリクラ撮りなど外出も楽しんでいます。

もっともっと外に出て、みんなで新しい感動に出会いたいなぁと思っています。



ピザ作り



みんなで作ったお弁当



ピクニックは楽しいな

虹ユニット

新しい仲間と過ごし始め、早いものでもう12月です。長い長いと思っていた夏休みもあっという間に終わり、2学期が始まりました。2学期は学習棟での体育祭があり、みんなそれぞれに頑張って練習に参加できていました。虹ユニットの仲間も11人となり、なかなか賑やかな様子で毎日過ごしています。虹ユニットでは今年度より、月に一度の自由献立の日を設けるようになりました。3人が選ばれ、ユニットの子に料理を振舞うのです。メニュー決めから材料の買出し、調理に片付け・・・と大変ながらも、みんなから「おいしい!」と言ってもらえることの喜びも感じつつあるようです。ユニットの行事や毎日の生活の中での関わりから、人と共に支えあい協力していく大切さを感じてくれたらいいな・・・と思います。



ビーフン!



唐揚げも☆



完成〜♪

光ユニット



新しいメンバーも増えて、さらににぎやかになった光ユニットです☆ 小学校低学年が増え、時々日本語が通じないこともあり、『トムとジェリー』のような喧嘩が毎日繰り広げられ、ここは日本モンキーセンターか？と思わせるような奇声も聞かれます。

そんな中で、受験生の中学3年生は、自分の成績に愕然とし（たと思いたい）秋から塾に通いだしました。果たして間に合うのか・・・？そんな不安を抱えながら職員一同見守っている今日この頃。志望校合格ラインの点数の半分にも及ばなくたって、志望者数の内点数が最下位だって、模試の日の朝はお腹ぴーぴーだって（今は）いいんです！！ああ～光ユニットで良かったなって思える学館生活ラスト半年を過ごして欲しいなあ。

この冬は、温泉やサッカーの練習試合等、楽しいことがたくさん待っています。お腹も心もポンポンになるような冬になりますように☆

空ユニット

暑い夏が過ぎ・・・あれ。今年はそんな暑かっただろうか。いつの間にか梅雨明けをして、暑い夏はあっという間、そんな夏でした。

『楽しい楽しい夏休み』、そんな風に思っていた頃が懐かしい。夏休みと言えば、楽しく辛く長い夏休み。やんちゃな子ども達が多くなった空では夏休み日課を考えるのに一苦労。そんな今年の空の目標は、『自立と自律』。そこで考え付いたのは、メリハリに暮らせるようメリハリポイント！！夏休み日課を上手に過ごせた子どもにはメリハリポイント Get！そんなこんなで空ユニット、メリハリな夏休みを過ごせたわけですが・・・。

夏休みが明け、朝夜の肌寒さを感じてきた頃、空ユニットは前途多難な状況に。9月から新メンバーが3人加わり、9人の仲間となりました。小学生が加わった事で、和やかなムードになったことがありました。しかしながら、子ども達は多くの不安・心配を抱えており、その不安を言葉にできず悪い行動につなげてしまうことが多くなっています。

前途多難だけど、Small Small Stepで『自立と自律』の目標に向かいたい。ピンチはチャンスでありたい。そう切に願う秋の夕暮れです。





行事係より



五月にみんなで植えた
サツマイモです。



収穫祭



大学芋、茶巾絞
り、皆で作った
よ。自然の恵み
に感謝です！！



山登り



- 6月 能郷白山
- 7月 下呂小坂滝めぐり
- 8月 伊吹山
- 9月 霊仙山
- 10月 瓢ヶ岳

主な行事

- 6月 ボーリング大会
- 7月 セタ会 キャンプ
- 8月 夏祭り
ソフトボール大会
- 9月 映画会 お月見
- 10月 収穫祭 卓球大会
- 12月 Yリーグ
空手大会

山歩会ボランティアの皆さんに山の楽しさを教えてもらってます。

桜学館分級のあゆみ

◇全力投球！

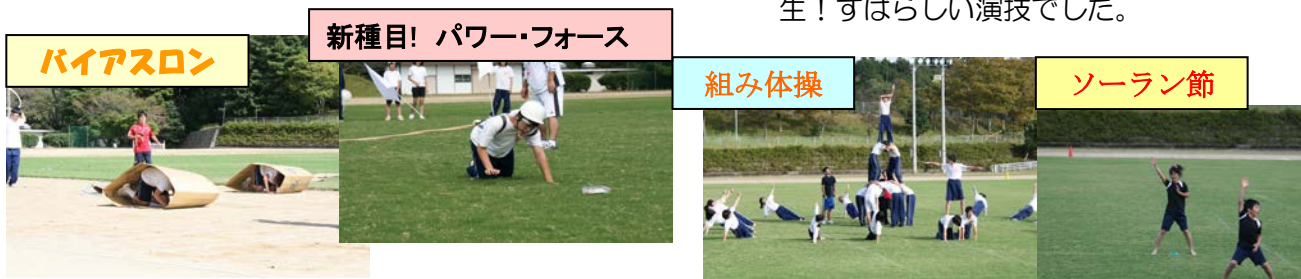
小中合同体育祭、大成功！

先日、桜学館分級の大きな行事の一つである小中合同体育祭が行われました。前日には、台風により休校となり、天候が心配されましたがみんなの願いが通じたのか、当日はとてもよい天気となりました。選択種目や全体種目などそれぞれが活躍できる体育祭となりました。

◇迫力のある団体演技！

なんといっても見所は、小学生はソーラン節、中学生は組み体操です。

ソーラン節では、元気な掛け声がグラウンドに響きわたりました。組み体操では、一つ一つの演技が揃い、3段タワーもバシッときまりました。さすが中学生！素晴らしい演技でした。



★わくわく・ドキドキ・きらり発見★

失敗をおそれず 一生懸命、真剣に取り組もう！

小学校最大の行事であるレインボーフェスティバルが行われました。レインボーフェスティバルでは、一人一人が自分のお店を持ち、店長さんになります。

たくさんのお客さんに来ていただき、嬉しい言葉をたくさんかけていただきました。フェスティバルが終わった後には「やりきた！」という児童の表情が印象的でした。

たくさん笑顔を見ることができ、たくさんの新しい自分を発見できた行事になりました。

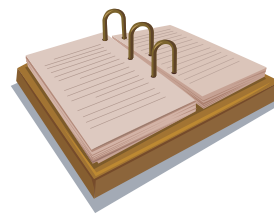




研修紹介



桜学館で行っている主な研修・勉強会、取り組みを紹介します。



☆ 子どものトラウマ勉強会 ☆

特別講師：村瀬嘉代子先生（日本臨床心理士会会長）

村瀬先生をお迎えし、「子どものトラウマ勉強会」という継続ケース検討会を年4回開催しています。

昨年度から村瀬先生には来ていただき、今年度もアドバイスをいただき子ども達の支援に繋がっています。また、外部からも多くの心理士や医師の方々にも参加していただいています。

☆ 家族療法研修 ☆

特別講師：川畑隆先生（京都学園大学人間文化学部教授）

桜学館のセラピストで取り組んでいる家族療法の質の向上を目的として、年2回川畑先生に来ていただき、家族療法におけるアセスメントや介入方法について助言やヒントをいただいています。



☆ トラウマ勉強会 ☆

特別講師：山口典子先生（東海中央病院臨床心理士）

9月に第1回目の勉強会を実施し、性被害についての理解を深めました。心理のスーパーバイザーとして今後も2ヶ月に1回のケース検討会を開催する予定です。

☆ 性教育勉強会 ☆

特別講師：田中良先生（岐阜県「人間と性」教育文化センター所長）

子ども達に性教育を施すために、職員が性教育の知識を身に付けることを目的とし、5回の継続研修が実施されました。性教育とは、ただ性の知識をつけるだけではなく、人権を扱うものであることを知りました。



図書コーナー開設



今年度から、1Fの片隅に子ども達からの希望があった図書コーナーを開設しました。各ユニット1～2名の子どものが図書委員となり、ルールを作りました。そして図書委員が協力し、本の管理を行っています。



大人気！
ハリーポッター！！

どれ借りよ
～かなあ～



取り組み紹介



OB会

桜学館では、学校を卒業した子ども達が集まれる場を提供しています。

そこでは学館での生活を振り返り、お互いの成長を確かめ合って、今の生活の糧にしています。



時間は戻らない！勉強しとけ！
（無口な彼が放った一言）

編集後記 11月初旬奥飛騨の初雪に出会う事ができました。紅葉、雪景色、露天風呂と贅沢な時間を過ごしました。子どもと楽しく関わるためには心のゆとりも大切ですね。次回発行は、平成22年6月1日です。